

2019年度 第2回 11月九大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。
- 5) [指定語句] は、文中のどこかで使用していれば減点しない。

[1]

問1 各2点

A : 日本 B : アメリカ合衆国／アメリカ C : ドイツ D : 韓国 E : インド

問2 20点 [指定語句] 五大湖 石油危機 バブル経済 貿易摩擦 (下線不要)

※指定語句不足は1語につき-1点

1970年代の石油危機で日本の低燃費小型車の人気が高まり、日本からアメリカ合衆国への乗用車輸出が急増した結果、1980年代初めに日本の生産台数がアメリカ合衆国を上回った。日米貿易摩擦が生じ、乗用車の輸出制限や自主規制を迫られた日本は、アメリカ合衆国に生産拠点を移し現地生産を進めた。1985年以降急激に進んだ円高はこの傾向を加速させ、アメリカ合衆国でも五大湖周辺から生産コストが安価なサンベルトに生産拠点が移動し、アメリカ合衆国の生産台数は一旦回復した。バブル経済の好景気の下、日本の生産台数は増加を続けた。

【加点ポイント】(★問1の可否は問わない)

i) 日本の生産台数の推移 (2点)

- ・ 1970年代～1980年頃まで日本の生産台数が急増した
 - ・ 1980年代初めに (1985年頃でも可) 日本の生産台数がアメリカ合衆国を上回った
- } いずれかで2点

(※「時期」は「石油危機後」でも可 「時期」が不明瞭のものは1点のみ加点)

ii) i) の理由 (3点)

- ①日本の低燃費小型車の車輸出が急増した／日本の自動車は低燃費だった
／低燃費の車の人気が高まった →2点
- ② (①の背景として) 石油危機 →1点

iii) ii) の結果 (8点)

- ① 日米貿易摩擦が生じた／アメリカ合衆国との間で貿易摩擦が起きた →2点
- ② (①により) 日本は自動車の輸出を制限された／日本は輸出の自主規制をした →1点
- ③ (①により) 日本は 生産拠点を移した／現地生産を始めた／海外生産を始めた→2点
- ④ (その後) 円高によりさらに現地生産が拡大した →2点
- ⑤ (④の時期について) 1985年以降／プラザ合意の後 →1点

iv) アメリカ合衆国の生産の推移と生産拠点 (5点)

- ① (アメリカ合衆国の生産台数は) 伸び悩んでいる／年により増減が激しい
／1980年までは日本の生産台数を上回っていた
(世界一の生産台数であった)
／1980年代前半は生産が回復した →2点
- ② 以前は五大湖周辺に生産拠点多かった
／以前はフロストベルト (スノーベルト／ラストベルト) で生産していた →1点
- ③ サンベルトに生産拠点が移った →2点
(※②③をまとめて「生産拠点が五大湖 (フロストベルト) からサンベルトに移った」
→3点)

v) 1980年代後半について (2点)

- ① (日本は) バブル経済により, 生産台数が増えた →2点

問3 20点 [指定語句] 新興国 関税 部品 市場の開拓 (下線不要)

※指定語句不足は1語につき-1点

NAFTAやEU域内の関税撤廃を活かし、アメリカ合衆国やドイツの企業は、生産コストの安いメキシコや、ポーランドなどの東欧地域で部品を生産し、自国との間で部品を流通させて完成車に組み立てる体制を作った。日本企業は生産コストの縮減や現地市場の開拓を目的に、ASEAN諸国で部品供給網を作りながら現地で完成車を生産する体制を作り、西アジアやオセアニア地域へ自動車輸出も行っている。新興国の経済成長を背景に、自動車メーカーは中国やインドに積極的に進出し、市場が拡大している現地向けの自動車生産を展開している。

【加点ポイント】

i) グローバルな最適化について (15点)

- ① 関税撤廃を活かした/関税がかからない →2点
- ② (①の具体例として)・(アメリカ合衆国は) NAFTA →2点
 - ・(ドイツは) EU →2点
 - ・(日本は) ASEAN →2点
- ③ (生産方法として) 他国と自国で部品を流通(輸出入)させて完成品を作る
/部品流通により国際分業を進める →3点
- ④ (③の利点として)
 - ・賃金コストの安い国を利用する/安い労働力を利用する/生産コストを下げる →2点
 - ・現地市場の開拓 →2点

ii) 近年の生産体制として (5点)

- ① (3か国とも) 新興国に進出している/新興国で現地生産をしている
/中国(インド・東南アジア)に進出している →3点
- ② (①の背景として) 新興国は経済成長が著しい/新興国は市場が大きい(拡大している)
/新興国は人口が多い →2点

[2]

問1 各2点

A：トルコ B：イスラエル C：イラン

D：サウジアラビア E：アラブ首長国連邦

問2 各2点

P：クルド Q：アラブ R：ユダヤ S：ペルシャ／ペルシア

問3 12点

A国やC国の国土の大部分は新期造山帯であるアルプス・ヒマラヤ造山帯に位置し、地殻変動が活発であり、地震発生の頻度が高い。また、乾燥帯が広がり森林資源に乏しいので、建築材として日干しれんがや石などが多く用いられるが、それらを積んで作られた家屋は振動によって倒壊しやすく、住民の圧死・生き埋めが多発する。

【加点ポイント】

(★問1の「A：トルコ，C：イラン」の両方を正解していることを加点の前提とする)

i) 地震が多いことについて (2点)

① (大地形として) 2国とも 新期造山帯／アルプス・ヒマラヤ造山帯

／プレートの境界 に位置する →2点

※トルコ (A国) は ずれる境界／北アナトリア断層 に位置する →1点
イラン (C国) は 狭まる境界／新期造山帯 に位置する →1点

でも可

ii) 家屋の倒壊が多いことについて (10点)

① (気候) 乾燥帯が多い／乾燥している／雨が少ない →3点

② (植生) 森林資源が少ない／樹木が育ちにくい／建材にする樹木に恵まれない →2点

③ (建材について) 日干しれんが／アドベ →3点

(※「石」のみ →1点)

④ (③の家屋について) 振動によって倒壊しやすい／地震で崩れる →2点

問4 20点 [指定語句]

モノカルチャー経済	石油精製	リゾート
人口性比	生産年齢人口	

(下線不要)

※指定語句不足は1語につき-1点

E国では石油収入に依存したモノカルチャー経済を脱却するため、エネルギー集約産業や第3次産業の育成による産業の多角化を図っている。石油産出量の多いアブダビでは石油精製などの工業立地が進む。石油産出量の少ないドバイでは地域の物流拠点となる自由貿易地域が設定され、観光リゾートや金融センターの立地も目指して、都市基盤、国際空港や人工島などの整備・建設が盛んである。しかし、これらの工業地帯や都市の建設に従事する労働力が不足しており、南アジア諸国などの20～40歳代の男性を中心に多くの外国人労働者を受け入れている。このため、非アラブ系民族の割合が高いうえ、人口性比や生産年齢人口割合が極端に高くなっている。

【加点ポイント】

(★問1の「E:アラブ首長国連邦」を正解していることを加点の前提とする)

i) 産業政策について (5点)

- ① モノカルチャー経済の脱却を図っている／産業の多角化を図っている →3点
- ② (①の背景として) 石油(原油)に依存している
／石油のモノカルチャー経済である →2点

ii) i) の具体策について (7点)

- ① 石油精製工業の立地が進む／石油精製工業を発展させている →2点
- ② (①の立地場所として) アブダビ →1点
- ③ 観光リゾートの開発が進む／リゾート地を作っている
／世界の金融センターを目指している／自由貿易地域を設定した →2点
- ④ (③の立地場所として) ドバイ →1点
- ⑤ 国際空港を整備した／ドバイ国際空港を立地させた／ハブ空港を作った →1点

iii) 民族・人口構成について (8点)

- ① 非アラブ系民族の割合が高い／南アジア出身の人口が多い／外国人の割合が高い
→1点
- ② 人口性比が高い →1点
- ③ 生産年齢人口割合が高い →1点
- ④ (①②③の背景として) 外国人労働者を受け入れている →1点
- ⑤ (④は) 都市建設／建設業／ビル建設／リゾート開発／工業 に従事する →1点
- ⑥ (④は) 20～40歳代／若い／働き盛り／生産年齢人口に値する →1点
- ⑦ (④は) 男性である →1点
- ⑧ (④は) 南アジア出身者が多い／インドなどからの出稼ぎが多い →1点